

## 第38回（令和元年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校低学年の部＞応募総数：128

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	清水小学校	2年	小倉 桃果	はがぬけたらどうするの
優 秀	清水小学校	1年	黒木 かな	もっかい！
	下川口小学校	2年	内原 希歩	どこに心があるのかな
入 選	下ノ加江小学校	1年	松岡 龍芯朗	「はちみつができるまで」をよんで
	三崎小学校	1年	山下 陽	「きゅうしょくばんちょう」をよんで
	三崎小学校	2年	北代 琉生	ぼくはねこのパーニーがだいすきだったをよんで
	清水小学校	2年	植田 優菜	やさしい友だち
	清水小学校	2年	上田 圭悟	ふしぎな空の家

### 【審査評】

- 1・2年らしく、自分の思いが自分の言葉で書けていて可愛らしい作品が多かった。
- その子どもに合った本を、先生が与えていると感じた。あらすじだけでなく、生活にかえった文が書けていた。
- 今年の低学年の課題図書は、内容的にも、感想文の題材としても良かったようだ。課題図書の感想文が多く見られた。
- 初めての長文ということもあり、書きぶりがややパターン化したように感じる作品もあった。  
指導が行き届いているということでもあるが、特に書き出しが、「こうやって書こう」という定型的なものがあった。

## 第38回（令和元年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校中学年の部＞応募総数：123

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	清水小学校	4年	峯本 笑子	「十歳の私と九十五歳の日野原重明先生」
優秀	下川口小学校	4年	竹葉 俊陽	「盆まねき」を読んで
入選	下川口小学校	3年	公文 歩	「スーホの白い馬」を読んで
	清水小学校	3年	藤川 瑚桃	さっちゃんのまほうの手を読んで
	三崎小学校	4年	池浦 新大	「おきなわ島のこえ」を読んで
	清水小学校	4年	吉村 來隼	ゾウの森とポテトチップスを読んで
	下ノ加江小学校	4年	早川 祥世	「ぼくのクジラ」を読んで

### 【審査評】

- いろいろなジャンルの本があり、自分で本を選んで読んでいるのが分かって良かった。
- あらすじばかりでなく、その本を読んで自分が感じたことや考えたことが書けていた。
- 誤字、脱字、改行ができていない文もあったので、推敲をきちんとしたらよいと思う。

## 第38回（令和元年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校高学年の部＞応募総数：123

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	清水小学校	6年	原 彩奈	友達とは
優 秀	足摺岬小学校	5年	戎井 陸人	みずとはなんじゃ？
	下川口小学校	6年	黒田 涼成	「障害者権利条約」を読んで
入 選	幡 陽 小 学 校	5年	野村 綾花	人は、一人では生きられない
	三 崎 小 学 校	5年	浜口 夏葵	「まぼろしの犬」を読んで
	下ノ加江小学校	5年	鈴木 仁太	「ネットのルールとマナー」を読んで
	清 水 小 学 校	6年	武政 すみれ	人生の分かれ道
	幡 陽 小 学 校	6年	畠中 緋里	強い心は持てる

### 【審査評】

- 自分の言葉で、のびのびと表現できている作品がありました。
- 高学年にふさわしい内容の本を選んで感想を書いてほしいと思う作品もありました。
- 学年で習った漢字はできるだけ使うようにしてほしいと思います。
- 自分の意見や感想を率直に述べるできていましたが、作品の伝えたいことをしっかり読みとり意見を述べてほしいものもありました。

## 第38回（令和元年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜中学校の部＞応募総数：223

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	清水中学校	2年	岡田 昂大	「自分らしく生きる」
優 秀	清水中学校	3年	川口 実久瑠	「自分の意思を持って～鹿野靖明さんとボランティアから学ぶ～」
	清水中学校	3年	切詰 紅羽	「失敗は成功に、後悔は宝に」
入 選	清水中学校	1年	山本 蘭	「追い込まれるのはいじめる側」
	清水中学校	1年	寺岡 知優	「彼女と彼女の猫」を読んで
	清水中学校	1年	山本 千聖	「ころ」
	清水中学校	2年	谷口 正磨	「ひたむきに取り組んだ後に見える世界」
	清水中学校	2年	畠中 彩音	「さやかさんの体験から考える」

### 【審査評】

あらすじを追うだけの作文になってはならないことは言うまでもないことだが、読書感想文という性質の作文である以上、本の内容からかけ離れることもできない。そのあたりの加減が難しいと思う。自分の体験と重ね合わせて書くことは、読書感想文を書く上で重要な要素だが、そればかりに考えが向いてしまい、自分の意見作文のように思っている作文も多くなっているように思う。

受賞した作品は、作品の構成や、描写にも着目し、本の内容を深く読み取ることができていた。また、考えた事柄を吟味された言葉表現できていた作品が多かった。

良い作文を書くためにも、考える力を身につけるためにも、語彙を増やすことと、物事を単語だけでなく文章で考える習慣が大切だと改めて考えさせられた。

## 第38回（令和元年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

<高等学校の部>応募総数：39

	学校名	学年	氏名	題名
優秀	清水高等学校	2年	安岡 優香	「明日の子供たち」を読んで
入選	清水高等学校	1年	宮崎 萌香	「僕は明日、きみの心を叫ぶ。」を読んで
	清水高等学校	1年	村上 舞	欲に取りつかれた人間の恐ろしさ

### 【審査評】

本年度は、児童養護施設とそこに暮らす子どもたちの抱える問題を述べた作品をはじめ、日本昔話を基にした推理小説から人間の醜い「欲」について考えてみた作品、いじめによって生きる希望を失ってしまったヒロインと彼女を救おうと奮闘する主人公を描く小説への思いなど、様々なテーマの作品について取り組まれていました。

様々なテーマに共感しながら作品を読み進め、「自己」や「他者」という存在について少しずつ考えていくことは、高校生として心を成長させる栄養となってくれたことだろうと思います。

また、そこで感じた率直な思いを拙いながらも自分の言葉で一生懸命に語る事ができていた点には好感を覚えます。

皆、この素晴らしい読書の経験を通して心を豊かにし、視野を広げ、今後の高校生活を実りあるものにしてほしいと思います。